

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事後評価シート

評価実施年月：平成28年3月25日

1. 対象事業	芦屋市（芦屋処理区）合流式下水道緊急改善計画
2. 実施主体名称	芦屋市
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、計画通りに実施した。</p> <p>①汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none">・芦屋下水処理場場内ポンプ場雨水沈砂池にドライ化ポンプを設置。
5. 目標達成状況と達成の見通し	<p>改善目標</p> <p>①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並みの汚濁負荷量とすること）</p> <p>②公衆衛生上の安全確保（未処理放流水の回数半減）</p> <p>③夾雑物の削減（全ての吐口で夾雑物の流出を極力防止する。）</p> <p>達成状況</p> <p>①雨水浸透施設等設置の推進，合流区域の一部分流化を行った結果，平成20年度末において改善済み。</p> <p>②雨水浸透施設等設置の推進，合流区域の一部分流化を行った結果，平成20年度末において改善済み。</p> <p>③全ての雨水吐口でスクリーン等の設置が完了しており，平成20年度末において改善済み。</p> <p>改善計画を基に事業を実施し，改善目標を達成している。</p>
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>①汚濁負荷量の削減</p> <p>ドライ化ポンプの設置により，堆積物の流出を極力防止している。</p>
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>降雨前及び定期的に雨水沈砂池の堆積物を除去することで，雨水ポンプ起動時に排出される排出水に堆積物が含まれるのを防止することができている。</p>
8. 今後の方針	<p>芦屋市では，合流式下水道緊急改善計画で位置づけた改善対策の整備がすべて完了したことから，目標は達成された状況にある。今後は合流区域のさらなる分流化や雨水浸透施設の推進，整備した施設の適切な維持管理を実施することで，合流式下水道の改善に努める予定である。</p>